



道路の交差部分を利用して広がり確保



和風庭園と調和を図るために地元ゆかりの亀甲竹を使用



かつての風景を壁のモニュメントに残す

DATA・BOARD 27

- ①滋賀県野洲郡野洲町行畑
- ②面積：51.2㎡
- ③和風庭園，四阿，和風壁
- ④植栽ほか
- ⑤地藏祭り



27 ゆき あい 行合ふれあい広場修景整備事業



野洲町の行畑地区は、旧中山道の面影が偲ばれる伝統的な家並みが現存しており、周辺には平家ゆかりの祇王井川や鎮守の森として町民に親しまれている行事神社などもある。しかし、都市計画道路の整備によって景観が変化したことなどから、その残存地を利用して周囲の風景に溶け込むような空間として「行合ふれあい広場修景整備事業」の整備が行われた。

広場の設置にあたっては、地域の人々とも話し合い、和風庭園として整備を行った。植栽には、和風庭園と調和するように地元の珍しい亀甲竹を使用するとともに、コンクリートの壁には竹を描いている。またこの壁には、平安時代に地域に建立された背くらべ地藏尊の由来を紹介する案内板を彫り込み、和風壁には都市計画道路着工前の風景を描いて、後世に伝えるための配慮を行った。